

機 巢

同窓会報メールマガジン

Vol. 5 春号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科

P-2	目次 & 会長挨拶		中野 廣幸 (4期生)
P-3	機械工学科の現状について	機械工学科 教授	山田 実 (24期生)
P-4	若鮎会 HP 開設について	若鮎会副会長	土屋 淳 (D2期生)
P-5	若鮎会 50 周年記念式典の中間報告	実行委員	太田 哲也 (6期生)
P-6	記念式典チラシ		
P-7	卒業生からの便り		伊藤 友裕 (33期生)
P-8	企業家卒業生インタビュー		
	(株)尾関ホットランナープラン	代表取締役	尾関 博文 (4期生)
P-10	地域連携協力会企業シリーズ1	『株式会社ギフ加藤製作所』	
	35 年を振り返って	常務取締役	鳥澤 雅之
P-12	「機楽」メールマガジン HP 閲覧方法 & 配信登録方法 & 編集後記		

会長挨拶

中野 廣幸

新しい生命が活気づくすがすがしい季節となりました。企業でご活躍の卒業生の皆様は、新年度を迎え、新しい年度の計画に基づいたお仕事が始まったことと思います。私が役員をしております計量関係団体も、新しい事業計画に基づき一年が動き出しました。企業に事業計画があるのと同じで、人生にも事業計画があります。企業の場合は、マーケットリサーチを行い、方針を決定して、中期計画および年度事業計画を立ててそれに基づき事業を運営していきます。人生の事業計画を立てる上においても、絶えず変わる世の中を見据え、日常の中に変化の兆しを見つけて、それが自身の人生に与えるリスクと可能性を考えることが必要となります。蕉風俳諧の理念の一つに不易流行という言葉があります。これは「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。」また、「新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。」という意味です。9月には若鮎会設立50周年の記念式典があります。私はこの式典を、この50年間の間に何が変わったか、あるいは変わっていないのか、さらなる50年間に何が変わるのか、あるいは変わらないのかを、この50年を支えてきた卒業生の皆さんと、これからの50年を作り上げる卒業生の皆さんの交流の中で一緒に考え、皆さんの人生を有意義なものにするための機会に位置づけたいと思っております。



機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

【卒業状況】

平成28年度の卒業生は42名でした。進路は就職が22名、進学が20名でした。進路先は次のようになっています。

平成28年度進路状況

就職先	倉敷紡績, 日本特殊陶業, LIXIL, オークマ, ヤマザキマザック, 神鋼造機, タダノ, 村田機械, プラザー工業, 明電舎, 太平洋工業, 東海交通機械, 東レ・カーボンマジック, シチズン時計マニユファクチャリング, 関水金属, 東邦ガス, 東京ガス, 東海旅客鉄道, アマゾンジャパン, いすゞエンジニアリング, 川重岐阜エンジニアリング, 竹田設計工業 (求人件数417件)
進学先	専攻科6名, 岐阜大学3名, 長岡技術科学大学2名, 豊橋技術科学大学1名, 名古屋工業大学1名, 三重大学1名, 金沢大学1名, 福井大学1名, 岡山大学2名, 広島大学1名, 大阪府立大学1名



平成28年度卒業式 (第5学年担任 加藤浩三先生)

【入学状況】

平成29年度機械工学科には42名(うち女子3名)が入学しました。推薦入学者は18名, 学力志願者46名, そのうち24名が学力合格者です。したがって学力試験のみの倍率は1.92倍です。40名定員に対する倍率は1.6倍です。学校全体では1.81倍と前年度並みでした。

今回、岐阜高専の卒業アルバムを作られている平和写真館の方に同窓会報に載せる入学式の写真をいただけないかお願いしたところ、快く提供していただきましたので紹介いたします。



枝垂れ桜と第1体育館



入学式



クラブ紹介

若鮎会ホームページが新しくなりました！

今まで若鮎会ホームページは、学校内で管理されている為、何かと制約もあったものを、外部に移管し新しくホームページ（右図参照）を開設されました

若鮎会の最新情報を発信していきます

新しいホームページでは、若鮎会設立50周年記念事業の進捗状況や、9月に開催される記念式典&記念パーティーの最新情報も随時発信していきます。

また、今回新設されたホームページには、「卒業生掲示板」のコーナーができました。

卒業生掲示板では、近況報告、クラス会の予告・開催報告、勤務先ホームページの紹介等々、若鮎会会員から寄せられた様々な情報をご紹介しますコミュニケーションスペースです。会員の方なら誰でも投稿できますので、ぜひご活用ください。

近況、クラス会の予告・開催報告などの情報を通して懐かしい仲間との連絡を今まで以上に密にさせていただき、情報発信に役立てて頂ければ幸いです。

各ページのフッター部分には、機集会ホームページなど岐阜高専に関係するサイトのリンク集が設けられています。

新しいロゴマークができました

ホームページを新設するにあたり、若鮎会のロゴマーク（下図参照）が新しく作成されました。



この鮎イラストの背景には「工学」という文字が隠れています。さらに、バックの雫のような形は「発想」を図化したものです。工学 × 発想という岐阜高専にふさわしい内容を盛り込み、飛躍していく若鮎をイメージしています。

若鮎会では、新しいホームページを活用し、会員相互の親睦・連絡を今まで以上に密にさせていただき、更には情報発信にも役立てていきます。



若鮎会 50 周年記念事業経過報告

50 周年記念事業実行委員 太田哲也

4 月 22 日の実行委員会で決定しましたことをお知らせします。

記念式典

- 1) 基調講演者 & パネラーが下記のように決定しました。
 未定者 3 名 D 科 2 名と専攻科 2 名
 ・基調講演者の選定： 所 靖子氏 C 8 期生
 パネラー予定者

NO	氏 名	性別	卒業期	所属機関	役職		
1	井坂 一男	男	M1	日立建機OB			初代若鮎会長
2	豊吉 隆一郎	男	E37	(株)Misoca	代表取締役		ｸﾞﾗﾌﾞ 請求書
3	武井 祥平	男	E37	Nomena Inc	代表取締役		空間デザイン
4	宇佐見 晃三	男	A3	大野町	町長		世帯年収全国 7 位
5	所 靖子	女	C8	国土交通省			日本初の女性トンネル工事監督者
6	恩田 多賀雄	男	M13	(株)Deto	代表取締役		水栓事業
7	村手 雅子	女	M7	(有)村手エンジニア	代表取締役		設備事業
8	菅原 健	男	D1	ソニーエンジニアリング	統括部長		開発事業
9	専攻科学生	男					
10	専攻科学生	女					

- 2) ホームページより申し込みが可能です。
 申し込み終了後祝賀会の会費の振り込みをお願いします。
 3) チラシ3000枚印刷 学校で約2000枚予定 残1000枚
 5月には次バージョン作成予定 講演内容やパネラーを紹介
 4) 式典集客目標人数 1000人
 5) 展示スペースにおける各種パフォーマンス準備

OB・OG公開講座

- ①会場と日程 岐大サテライト 多目的会議室(大) 120名(175㎡)
 開始時刻：12:30~15:30
 日程 : 10月28日 講師 真田 誠至 C26期 アクアと自然共生研究センター
 11月18日 未定
 1月13日 講師 西村 栄昭 E21期 ブラザー
 2月24日 講師 玉田 雅巳 E14期 パナソニック教育センター
 3月24日 講師 柴田

ノベルティ クリアホルダーの製作予定(チラシの配布に欲しい)-----デザイン中

地域貢献 高木貞治博士を称える事業

数楽校の講師派遣：7/22(土) 8/26(土) 9/16(土) 10/14(土) 11/18(土)に決定
 5月に本巣市に対して登録者を連絡する。

以上、若鮎会 50 周年記念事業は着々と進んでおります。

ご期待ください。

50  岐阜工業高等専門学校同窓会
th Anniversary

若鮎会

設立50周年記念式典 & 懇親祝賀パーティー

2017年

9/9 (土) 13:00~

長良川国際会議場

岐阜市長良福光2695-2 TEL:058-296-1200



技術に夢を託し
社会の最前線で活躍する
モノづくりの同志たち



**参加費
無料**

卒業生・在籍者・ご家族
入学希望の中学生やそのご家族
どなたでもご参加いただけます

卒業生によるパネルディスカッションを予定しています

懇親祝賀パーティー

- [時間] 15:30~17:00
- [会場] 岐阜都ホテル
- [会費] 5,000円 (事前申込制・当日受付あり)



クラス別同窓会

開催希望を連絡ください。会場を斡旋させていただきます (先着20組)

お申込み 若鮎会事務局 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番 2
TEL:058-323-8752 (教育後援会と共通)
FAX:058-322-6751 (教育後援会と共通)

WEB申し込みは <https://www.wakaayu.org>

岐阜高専 若鮎会

検索

卒業生からのたより

今回はインタビュー形式でご紹介したいと思います。

編集部 : 卒業年と名前を。 **伊藤** : H12年3月卒業 伊藤 友裕です。

編 : 高専時代の思い出を紹介してください。

伊 : 4年生のときだったと思いますが、高専祭の専門展が印象深いです。ちゃんとした展示物としてエアホッケーを作ったのですが、展示物の作りにばかり気が行ってしまい、クラス全体でなにかを成し遂げるといったプロジェクト的な考えが当時は足りなかったかと、今でもやたら思い出して反省しています。目的を明確にして、計画を立案し、役割を決め、進捗と結果をモニターするとか、そういった物づくりを支える大きな枠組みのようなものを当時は全く知らなかった。職人のような仕事がある一方で、一人ではできない大きな物づくりとはなにかを考えるきっかけになったかと今でも思っています。

高専祭初日の夜に急遽思い立ち、クラスメイトの渡辺君と寮にあった掃除機のモーターとタイヤのチューブで徹夜でホバークラフトを作ろうとしたのも楽しい思い出です。

編 : 卒業後の進路について教えてください。

伊 : 卒業後は、三菱重工に入社しその後関連会社に出向しそのまま今に至ります。

編 : どんなお仕事をされていますか？

伊 : 入社後はビルとか病院に設置するタイプの非常用発電装置の設計を担当し、消音装置の設計のために音響について勉強したりと、とても興味深い仕事でした。機器をつなぐ配管のレイアウトは芸術であるという変な価値観もそのころ学びました。

その後はガスタービンエンジンの設計を担当することになり、材力、流体、熱力、材料と、高専で勉強したことをこんなにちゃんと使う機会があるとは！と思ったのを覚えています。また、その間1年半ほどイギリスの会社へ出向となったのですが、だいたいの高専生同様に私も英語がまったくだめで、しゃべれないからとりあえず筆談とか、いろいろ苦労しましたね。海外に住めば自動的にしゃべれるようになるかと思いきや、それなりに勉強しないとしゃべれるようにはならず、帰国後にちゃんと勉強しました。

現在は調達関連部門で、航空機用エンジンの部品を国内外のメーカーから開発・調達するといったことをしています。

編 : 休日などプライベートではどんなことをされていますか？

伊 : いろんな趣味を広く浅くやっています。30歳で船舶免許を取得したあとはウェイクボードにはまってしまい、毎年夏は川で過ごす機会が多くなりました。もはやボードで飛んだり回ったりする気合はありませんが、遠くの山や海へ行かずとも、近くの川（木曾川と長良川）でプカプカしているだけでストレス発散できるので良い息抜きになっています。子供が大きくなったら連れていきたいですね。

編 : 在校生や卒業生へひとこと。

伊 : 国内外問わずいろんな人と仕事したり飲みに行ったりする中で、まあほんとにいろいろな人がいるかと、価値観とか物事の進め方にもいろいろあるかと、身をもって体験しました。人生ひととの繋がりがだかと思うので、たとえばこういったメルマガなどでもなにか繋がりの一助になればよいなと思う今日この頃です。

個人的にサッカーボールくらいの大きさのアルミ板金試作をしてくれる板金屋さん探しているので、高専OBでどなたかいれば連絡欲しいです！

企業家卒業生インタビュー

(株) 尾関ホットランナープラン

代表取締役 尾関博文 (4 期生)

卒業生の中には、生涯サラリーマンの方、家業を継いだ方、あるいは方向転換して芸能活動に入る方、いろいろおられます。今回から不定期で、企業家として活躍されておられる卒業生の横顔を掲載していきたいと思います。第 1 回目は (株) 尾関ホットランナープラン代表取締役の尾関さんです。

Q1. まずは、会社経営をするまでの経歴、きっかけをお教えてください。

永井先生の研究室で金属材料をやっていた縁で三井金属鉱業 (株) に入社しました。広島県の事業所で 3 年過ごした後、孫会社の岐阜ハスキー (株) (現 (株) 型システム) に出向となりました。この会社は金型製作の会社ですが、専門の金属材料の他に、金型設計、射出成形機のサービスマンなど金型周辺の技術を経験することができました。1992 年に岐阜ハスキー (株) でホットランナーを始めたのですが、3 年ほど経った 1995 年、この事業だけで 5 億円以上の売上実績を残しつつも社内での待遇に不満を感じ退職しました。そして、これまでの技術を生かして (株) 尾関ホットランナープランを創業しました。



尾関さんと顧客製品(自動車用テールレンズ)

Q2. 会社を経営してから感じたことや、経営の苦労話をお聞かせください。

全てが順調というわけではなかったですね。特に、リーマンショックや円高では大変苦しかったです。仕事を受注していた大手も合理化で業務統合を行い、突然仕事がゼロになってしまいました。他にも仕事が無くて国から休業の助成金を、また韓国語をみんなで勉強して教育訓練の助成金をもらったりして公的資金に頼ったこともありました。また、社員の給料を払うために、自分の生命保険を担保に 500 万円借りたこともありました。

Q3. 現在、資金・人材・技術など会社に何が必要ですか、あるいは課題は何ですか？

やはり後継者、人材問題だと思います。建築の道を進んでいた娘婿を口説いて養子に来てもらったので、将来任せたいと考えています。とても真面目で、現在、関東方面の営業担当です。また以前には新卒が「大企業に入社して他人に敷かれたレールの上を歩きたくない。」という理由で当社に入社してくれました。この社員にも大いに期待しています。

Q4. 高専時代の学生生活で役に立ったことは？

金属材料をやっていてとても良かったということです。マルテンサイト、オーステナイトなど鋼の知識が金型材料で大変役立ちました。

Q5. 将来、この会社をどうしていきたいですか？

車の動力がエンジンから電気モータになっても、素材としてプラスチックは無くなれないと思います。ホットランナーの技術としては、この先少なくとも50年は続くと考えています。そこで今取り組んでいるスーパーエンブラの技術を更に高めていきたいですね。

Q6. 後輩、現役学生などに一言お願いします。

高専卒業生は実力があっても大学卒と対等には見られないので苦労すると思います。私の場合はホットランナーで独立できるコア技術を持っていたのが幸いしました。皆さんも、自分なりの武器を持ってください。



製作中のホットランナー

取材を終えて

取材の後、工場見学をさせていただき、ホットランナーなど実際の製品を見せていただきました。私も金型関係の仕事をしているのですが、知らないことばかりで大変参考になりました。ますますの社業ご発展をお祈りいたします。(記：中尾)

(会社情報)

株式会社 尾関ホットランナープラン

〒501-6211 岐阜県羽島市正木町南及6丁目68番地の2

TEL 058-391-9625

<http://ozeki-hr-p.com/>

若鮎会 50 周年記念式典後に同窓会を企画しましょう！

若鮎会実行委員会では、懇親会終了後に2次会のクラス別同窓会を企画しています。

幹事の方が申し込みをするだけで、**・会場・宿泊の手配**をします。

予算は宴会付き1泊で¥15,000くらいです。(会から一人¥2,000の補助有り)

どうぞご利用ください！

地域連携協力会企業紹介シリーズ 1

35年を振り返って

株式会社ギフ加藤製作所 常務取締役 鳥澤雅之

弊社は精密自動車部品及び自動車制御機器部品メーカーとして「品質至上」の基に、加工技術の研究を開発を通じて高品質、低コストの商品作りに励んでいます。

1944年に加藤製作所として創業、1948年には現アイシン精機の協力工場として、自動車部品の生産を始め現在に至っています。

私も、ギフ加藤製作所へ入社し、35年が過ぎ、過去を振り返ってみますと、昭和60年代～平成初期のバブル時期の忙しさ、24時間体制の生産活動、間接部門総勢の応援態勢、よく乗り切ってきたと思います。

入社当時は150人規模の会社でしたが、現在では1500人規模の会社へと成長を遂げてきました。

急成長したのも、グローバル化した体制にあると考えています。その一部が、海外からの技術の導入、海外を担当し、ヨーロッパのものづくり、台湾、韓国の低コスト加工設備の導入、同じものを作るなら安い工法を取る、そんなものづくりにより、「世界を相手にコスト競争に勝つ」成長を遂げた一つだと考えます。

これからは、優秀な人材の確保、育成、工場内の改善により重労働、単純作業の置き換えを重点に置き開発型の企業への成長を遂げたいと考えています。

ギフ加藤製作所の新工場及び中国工場及び海外出張先の紹介をさせていただきます。



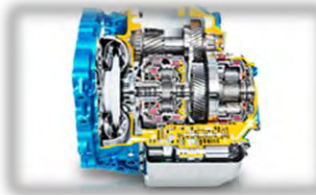
1 ギフ加藤製作所 本巢工場



油圧ブースタ



ハイブリット車等に搭載
回生ブレーキ部品及びブレーキブースター部品



オートマチックトランスミッション用
油圧切り替え用ソレノイド部品

2 中国大連工場



ブレーキブースター部品



オートマチック油圧切り替えバルブ

3 海外関係

(部品加工用の設備調達)

ヨーロッパ・アジア圏において、冷間鍛造設備(プレス・フォーマー)といった、鋼材に圧力を加えることにより変形させる設備を海外より輸入を行い、生産加工を行っています。国内より生産性及び安価な設備導入により、コスト競争力を高めています。



これらの設備の買い付けに、各国を回り、最適設備調達を行っています。

世界各国のCARメーカーに部品の供給を行い、世界でギフ加藤製作所で加工された部品が、各種自動車に搭載されています。

安全・快適空間をこれからも提供できる企業を作り続けていきたいと思えます。

株式会社ギフ加藤製作所 本社所在地: 〒501-0124 岐阜県岐阜市鏡島中2丁目1番45号

事業内容 : 自動車用機能部品製造(金属加工部品)

自動制御機器部品製造(金属加工部品)

電話(代表) (058)252-1411

URL <http://www.kgk.jp/>

機巢会メールマガジンへの登録のお願い

下記からメールアドレスを登録していただくとメールマガジン発行のお知らせや同窓会に関する案内をメールで受け取ることができます。ぜひ登録して下さい。

また、お知り合いの方へ登録の紹介をお願いします。

登録フォームはこちらです。

<https://i-magazine.jp/bm/p/f/tf.php?id=kaiho>

あるいは

「機巢会 メールマガジン」で検索

なお、機巢会メールマガジンは機巢会ホームページからいつでも見ることができます。

「岐阜高専ホームページ」→「学科・専攻科」→

「機械工学科」→「機巢会（同窓会）」

http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/mail_magazine.html

【機巢】岐阜高専 機械工学科卒業生向けメルマガ

こちらより登録・解除を行っていただけます。

E-mailアドレスを入力し、ご希望内容のボタンをお押し下さい。

登録 解除 編集

登録画面



編集後記

第4号は年末に発刊する予定でしたが年が明けてからの発信になってしまいました。大変申し訳なく思います。今回の第5号も50周年実行員会の報告を記載しようとして連休前ギリギリになりました。出版関係の方の、締め切り間際の忙しさを経験しています。次号は8月に発刊予定です。

編集者：6M 太田哲也「9月9日の記念式典後のクラス同窓会も、開催するクラスが増えてきました。早めの申し込みをお願いします。希望の方は私の携帯に連絡してください。090-3934-1536」

8M 犬飼宏好「今回は50周年記念式典関連をはじめ、卒業生だより、企業家だより等、様々なジャンルが盛り沢山となりました。充実した紙面の継続に向け、皆様からの投稿をお待ちしております。」

15M 中尾賢治「卒業して35年、活躍されている先輩に会うと未だに自分の未熟を感じるこの頃です。」

24M 山田 実「今年度から4年生の担任になりました。インターンシップや就職などでは多くのOBのお世話になるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。」

33M 伊藤友裕「メルマガを読んでいるみなさんがどんな日々を過ごされているのか気になる今日この頃です。」

発行日／2017年4月27日

責任者／中野廣幸

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343 FAX 058-320-1349

<http://www.gifu-nct.ac.jp/mecha/main/ob/ob.html>